

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 7-1

局・課名： 総務局 行革推進課

事業名	行財政改革推進事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
					792	3,112
【目的】 弾力的な行財政基盤を構築し、「堺市マスタープラン」に掲げる「堺・3つの挑戦」、そして「市民が安心、元気なまちづくり」をはじめとする重点施策を着実に進めるため、次期行財政改革プログラムを策定のうえ、更なる行財政改革を推進する。 【内容】 ○(仮称)第3期行財政改革プログラムの推進 平成30年度から平成32年度を計画期間とする「(仮称)第3期行財政改革プログラム」を策定し、着実に推進するとともに、外部有識者の意見などを参考に新たな行財政改革の取組を行う。 ○事務事業の総点検 総点検シートによる所管課の1次点検及び行革推進課による2次点検を行い、行政活動の改善に取り組むとともにアカウントビリティを確保する。 ○新しい公共ガバナンスの推進 公共サービスの公益性や継続性などの観点を踏まえ、市民、NPO法人、企業等の多様な主体の適切な役割分担のもと、公共サービスの維持・向上を図るため、新しい公共ガバナンス推進会議(以下、「NPG推進会議」という。)を引き続き開催する。 ○外郭団体の指導・調整 団体の自律的な経営基盤の確立をめざし、経営評価システムに基づき、自己評価及び外部有識者からの意見聴取等により経営改善を図る。 【今年度要求のポイント】 人口減少・超高齢社会の進展や高度情報化など社会経済情勢の急速な変化等により、市民ニーズや地域課題も多様化・高度化する傾向にあることから、既存の制度や枠組みにとらわれることなく、さらなる行財政改革を推進する必要がある。平成30年5月策定予定の次期行財政改革計画を着実に推進するとともに、中長期的な取組も含め、新たな行財政改革の取組についてさらに検討・着手する。また、平成28年度及び平成29年度に試行実施したNPG推進会議については、公共サービスの維持・向上を図るため、引き続き実施する。	債務負担行為 期間 H ~ H	要求額(千円)				
	主要要求内容					(単位:千円)
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	行財政改革の推進に関する意見聴取有識者謝礼金	0	92	有識者謝礼9件		
	新しい公共ガバナンス推進会議委員謝礼金	490	510	構成員謝礼50件		
	外郭団体経営評価に関する意見聴取有識者謝礼金	0	61	有識者謝礼6件		
	事務事業評価に関する意見聴取有識者謝礼金	21	194	有識者謝礼10件		
	研修講師謝礼金	60	200	講師謝礼2件		
	旅費	1,139	1,041	費用弁償、事前説明等		
	筆耕翻訳料	521	315			
その他	881	290				
合計	3,112	2,703				
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～29年度)】 第2期行革プログラムの推進 次期行財政改革計画の策定着手 事務事業の総点検の実施 NPG推進会議の試行実施 外郭団体経営評価の実施		【30年度】 第2期行革プログラムの総括 次期行財政改革計画の策定、推進 事務事業の総点検の実施 NPG推進会議の実施 外郭団体経営評価の実施		【今後予定(31年度～)】 次期行財政改革計画の推進 事務事業の総点検の実施 NPG推進会議の実施 外郭団体経営評価システム改善		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外						